

いじめ根絶

に向けて

熊本県では、6月を「いじめ根絶月間」として、「認めあう心のかげ橋つなげよう」を取り組みの柱に、学校・家庭・地域が互いの役割と責任を自覚し、地域ぐるみで「いじめ根絶」に取り組み、子どもたちに豊かな人間性や社会性を育むために、いじめの未然防止と解消に向けた対策を推進しています。

●いじめ根絶シンポジウム

今年の6月、城南町で「いじめ根絶シンポジウム」が開催されました。「いじめ根絶月間」に合わせて熊本県教育委員会が主催し、今年で4回目になります。オープニングは、山鹿市の小学生が、「いじめをなくすメッセージ」を発表しました。

次に、今年度3校が合併してできた中学校の生徒会が、互いに認め合い、仲間を助け合うという「いじめ撲滅宣言」を決めていった様子を発表しました。

パネルディスカッションでは、いじめは命に関わるものであるという認識を持って早期発見のアンテナを高くしておくこと、地域や教育相談機関などと連携すること、学校での人権学習や教育相談週間の実施、学級でのよりよい人間関係づくりなどについて取り組みの紹介や意見が出されました。

最後に、「いじめが起こりにくい学校づくり」を演題に、国立教育政策研究所の藤平敦氏の講演が行われました。講演の冒頭に「簡単な質問をしますので、はい、いいえで考えてみてください」と、次の質問をされました。

- ① いじめを行う子どもは、だいたい決まっていると思う
- ② いじめられる子どもは、だいたい決まっていると思う
- ③ いじめを行った子どもに対する指導は厳しすぎると思う
- ④ いじめられた子どもの人権を優先する姿勢は、少し神経質になり過ぎていると思う
- ⑤ 子どもは、いじめたり、いじめられたりしながら成長していくものだと思う

- ① いじめを行う子どもは、だいたい決まっていると思う
- ② いじめられる子どもは、だいたい決まっていると思う
- ③ いじめを行った子どもに対する指導は厳しすぎると思う
- ④ いじめられた子どもの人権を優先する姿勢は、少し神経質になり過ぎていると思う
- ⑤ 子どもは、いじめたり、いじめられたりしながら成長していくものだと思う

●いじめの起こりにくい学校・家庭・地域を

いじめの起こりにくい学校として、「互いに認め合い、失敗しても励まし合う雰囲気がある」「明るくあいさつを交わしている」「表情がにこやかで言葉遣いが丁寧である」「教室や学校が清潔で美しく整頓されている」などがあげられます。各学校でいじめの起こりにくい環境づくりに努めたいものです。

学校の先生は、これまでたくさん「いじめの事例を調査された結果、どれも「いじめ」だと述べられました。いじめを行う子どもが決まっていることはなかったし、いじめられる子どもも決まっていることはなかったのです。つまり、いじめはどの子にも起こり得ることだと考えなければならぬのです。また、③や④、⑤のように、いじめを軽く見たり、成長のための試練のようにとらえたりすることは、いじめを助長し、根絶しにくい状況をつくっているとも付け加えられ、いじめが起きたらすぐに対応するのはいつまでもなく、いじめが起こりにくい学校をつくるのが最も重要だとまとめられました。

講師の先生は、これまでたくさん「いじめの事例を調査された結果、どれも「いじめ」だと述べられました。いじめを行う子どもが決まっていることはなかったし、いじめられる子どもも決まっていることはなかったのです。つまり、いじめはどの子にも起こり得ることだと考えなければならぬのです。また、③や④、⑤のように、いじめを軽く見たり、成長のための試練のようにとらえたりすることは、いじめを助長し、根絶しにくい状況をつくっているとも付け加えられ、いじめが起きたらすぐに対応するのはいつまでもなく、いじめが起こりにくい学校をつくるのが最も重要だとまとめられました。

一人ひとりに目を向け、いじめのない、明るい元気な子どもたちを育てていきたいと思います。

益城町教育委員会

ふるまの地名遷歩

歴史の変遷と地名

324

矢嶋姉妹周辺⑨
「矢嶋忠左衛門の配三村氏碑陰の記(在杉堂矢嶋家墓地)」(前号からの続き)

【兄妹と同じく賞せられて銀若干を給りぬ。既に嫁して家貧しく、自ら農事を勤め蠶を養い、人の堪ぬ業を盡し舅姑に仕えぬ。ややゆたかなるに到りて衣服飲食みずからの事は極めて儉素なれども、理に因て財を出すは聊かも吝なる事なし、二男七女を生み子を教るに必ず真心を磨き行賞を盡す以て心とせり。病にて床にある事殆百五十日に及び、疲労日々に進めども精神平生にかかわらず、折に觸れ事に就き子を教え戒ること到れりと云うべければ、その子の母をしたひ忘れぬ餘りに、世替り時移り山崩れ地拉けしるしの石も無く成りて、此棺を葬かん人のあわれみでうつみ給はん事を希て余に乞て其あらましを記せしむ。余と云うものは熊本の時在にしてその子の矢嶋源介が師とし友としする人ぞかし】

◆人となり

色白で上背があり、人との応対も巧みで物怖じしない堂々たる女性であり、学問好きで達筆でありました。

◆家庭教育の姿勢

「自分について来い」の率先躬行でした。

益城町文化財を訪ねる会

会長 松野國策



三村家発祥の地とされる益城町櫛島の中心の通り